



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 サンデン株式会社 上場取引所
 コード番号 6444 URL <http://www.sanden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 満也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 丸山 英之 (TEL) 03-3833-1470
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	226,030	14.3	5,459	—	6,741	300.0	3,400	146.6
26年3月期第3四半期	197,677	12.5	493	—	1,685	—	1,378	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 9,246百万円(14.1%) 26年3月期第3四半期 8,104百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	24.62	—
26年3月期第3四半期	10.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	294,284	73,237	23.3	496.71
26年3月期	277,920	65,651	22.1	443.68

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 68,609百万円 26年3月期 61,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	9.2	8,000	64.7	9,000	80.9	5,500	△5.9	39.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	140,331,565株	26年3月期	140,331,565株
27年3月期3Q	2,204,009株	26年3月期	2,187,892株
27年3月期3Q	138,135,545株	26年3月期3Q	136,709,240株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、先進国を中心に緩やかな景気回復が継続したものの、新興国経済の成長鈍化に加え、地政学的な政情不安など先行き不透明な状況が続きました。米国では、消費や雇用情勢は引き続き堅調に推移しましたが、欧州については回復の足取りが重く、中国の成長率はほぼ横ばい、それ以外のアジア諸国においても改善が見られませんでした。

一方、国内では追加金融緩和策を背景に株高や雇用情勢の改善、円安による輸出関連企業の業績向上等、緩やかに回復を続けてきましたが、消費税増税後の反動による個人消費減もあり、景気回復は道半ばの状況が続きました。

このような事業環境の中、「品質力」と「グローバル力」を基礎に「環境」をコアにして次の成長を果たすという経営方針のもと、中期の重点戦略である「環境技術を軸とした売上成長」「体質改革による事業競争力強化」「経営システム改革による経営革新」に、全社一丸となり成果実現に向け取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、売上高は、成長の軸となる環境技術を活かし、顧客の戦略に適応した製品・システム・サービスを提案・提供することにより、流通システム事業を中心に大型ビジネスを受注することができ、増収となりました。

利益については、増収効果に加え、継続的なコスト削減、および現地生産化・内製化等の体質改革活動の効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は226,030百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益5,459百万円（前年同四半期493百万円）、経常利益6,741百万円（前年同期比300.0%増）、四半期純利益3,400百万円（前年同期比146.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

A. 自動車機器事業

自動車機器事業においては、当社の強みである環境技術を活かしたコンプレッサーの新規商権獲得等により、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

利益については、将来に向けた環境技術開発投資を積極的に行う一方、増収効果に加え、グローバル部品調達構造改革の成果によるコスト削減、生産性改善効果、および為替影響により、前年同期に比べ増益となりました。

その結果、売上高は145,957百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は3,120百万円（前年同期比158.7%増）となりました。

B. 流通システム事業

店舗システム事業においては、環境意識やライフスタイルの変化に呼応した製品・システム・サービスのトータルな提案・提供により、顧客の成長戦略に貢献し、ビジネスを拡大することができました。その結果、前年同期に比べ増収となりました。

ベンディングシステム事業においては、国内市場で、当社独自のCO₂ヒートポンプ自販機を基軸に積極的な環境商品の開発とコーヒーサーバー等の新規領域の拡大を図った結果、前年同期に比べ増収となりました。

利益については、増収効果に加え、コスト削減、生産性向上を中心とした体質改革への取り組みを継続・徹底した結果、前年同期に比べ増益となりました。

その結果、流通システム事業全体での売上高は71,622百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は4,683百万円（前年同期比257.7%増）となりました。

C. その他

「環境技術を軸とした売上成長」という中期の重点戦略に基づき、自然冷媒CO₂を使用したヒートポンプ式給湯機（エコキュート）の国内販売促進、および欧州やアジアでの海外展開を推進しております。加えて環境技術を活かした温水暖房機等において、独自技術の開発を進めるため積極投資を継続し、新たな事業領域の拡大に取り組む、着実に歩みを進めております。

(2) 財政状態に関する説明

A. 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて16,364百万円増加し、294,284百万円となりました。

〔資産〕

流動資産は、7,611百万円増加し、167,733百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が2,098百万円、棚卸資産が4,941百万円、未収入金が1,480百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、有形固定資産の増加3,646百万円および投資その他の資産の増加4,910百万円を主な要因として8,753百万円増加し、126,551百万円となりました。

〔負債〕

流動負債は、一年内返済長期借入金が3,262百万円減少しましたが、短期借入金の増加5,420百万円、その他流動負債の増加2,798百万円等により4,583百万円増加し、141,147百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加2,999百万円、その他固定負債の増加713百万円等により4,194百万円増加し、79,900百万円となりました。その結果、負債合計は8,778百万円増加し、221,047百万円となりました。

〔純資産〕

純資産合計は、配当金支払い1,382百万円等がありましたが、四半期純利益3,400百万円、為替換算調整勘定の増加4,500百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,341百万円等により7,586百万円増加し、73,237百万円となりました。

B. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ832百万円増加し、19,910百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,135百万円、減価償却費8,554百万円、売上債権の減少3,075百万円を主な原因として増加しましたが、棚卸資産の増加2,296百万円、仕入債務の減少1,899百万円、持分法による投資利益1,517百万円等により、差引10,961百万円（前年同期比721百万円の収入増）の資金を創出しました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出8,920百万円を主な支出として9,451百万円（前年同期比1,031百万円の支出増）の資金を使用しました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金3,256百万円および長期借入金9,294百万円を主な収入として増加しましたが、長期借入金の返済11,129百万円、リース債務の返済1,089百万円、配当金支払い1,382百万円を主な支出として差引1,270百万円（前年同期比4,189百万円の支出減）の資金を使用しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月6日に公表いたしました連結業績予想については、現時点で修正はありませんが、変化が生じた場合には速やかに開示致します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,087	19,919
受取手形及び売掛金	76,530	78,628
商品及び製品	22,833	24,780
仕掛品	7,514	7,557
原材料	12,524	14,772
その他のたな卸資産	3,769	4,473
繰延税金資産	3,167	3,001
未収入金	3,849	5,330
未収消費税等	4,260	3,742
その他	7,532	6,671
貸倒引当金	△948	△1,145
流動資産合計	160,122	167,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,242	24,944
機械装置及び運搬具（純額）	27,579	29,703
工具、器具及び備品（純額）	5,150	5,668
土地	19,152	19,295
リース資産（純額）	5,196	5,916
建設仮勘定	8,360	6,799
有形固定資産合計	88,681	92,327
無形固定資産		
のれん	677	593
リース資産	140	98
その他	3,431	3,753
無形固定資産合計	4,250	4,446
投資その他の資産		
投資有価証券	21,388	25,737
繰延税金資産	2,005	2,150
その他	1,684	2,099
貸倒引当金	△212	△210
投資その他の資産合計	24,866	29,777
固定資産合計	117,798	126,551
資産合計	277,920	294,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,714	53,855
短期借入金	42,953	48,373
1年内返済予定の長期借入金	13,527	10,264
未払金	10,635	10,433
リース債務	1,213	1,275
未払法人税等	639	716
賞与引当金	3,620	2,551
売上割戻引当金	519	947
製品保証引当金	1,582	2,787
繰延税金負債	16	1
その他	7,141	9,939
流動負債合計	136,563	141,147
固定負債		
長期借入金	62,567	65,566
リース債務	4,118	4,783
繰延税金負債	1,018	1,784
退職給付に係る負債	2,545	3,091
役員退職慰労引当金	179	179
環境費用引当金	518	553
長期末払金	2,859	1,328
その他	1,897	2,611
固定負債合計	75,705	79,900
負債合計	212,269	221,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	4,453	4,453
利益剰余金	44,239	46,258
自己株式	△1,178	△1,187
株主資本合計	58,553	60,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,532	3,873
繰延ヘッジ損益	△22	△222
為替換算調整勘定	807	5,308
退職給付に係る調整累計額	△579	△911
その他の包括利益累計額合計	2,738	8,047
少数株主持分	4,359	4,627
純資産合計	65,651	73,237
負債純資産合計	277,920	294,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	197,677	226,030
売上原価	164,797	183,800
売上総利益	32,880	42,230
販売費及び一般管理費	32,386	36,771
営業利益	493	5,459
営業外収益		
受取利息	47	20
受取配当金	151	162
為替差益	483	1,489
持分法による投資利益	2,054	1,517
その他	632	716
営業外収益合計	3,370	3,906
営業外費用		
支払利息	1,816	2,051
その他	362	572
営業外費用合計	2,179	2,624
経常利益	1,685	6,741
特別利益		
固定資産売却益	107	60
投資有価証券売却益	0	7
その他	1	0
特別利益合計	108	69
特別損失		
固定資産処分損	142	829
投資有価証券評価損	-	16
独占禁止法関連損失	-	385
市場対策費用	-	315
その他	4	127
特別損失合計	147	1,675
税金等調整前四半期純利益	1,646	5,135
法人税等合計	463	1,358
少数株主損益調整前四半期純利益	1,182	3,777
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△196	377
四半期純利益	1,378	3,400

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,182	3,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,065	1,334
繰延ヘッジ損益	△203	△200
為替換算調整勘定	4,694	3,675
退職給付に係る調整額	-	△331
持分法適用会社に対する持分相当額	1,364	991
その他の包括利益合計	6,921	5,469
四半期包括利益	8,104	9,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,998	8,709
少数株主に係る四半期包括利益	105	536

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,646	5,135
減価償却費	7,443	8,554
賞与引当金の増減額(△は減少)	△898	△1,150
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	67
受取利息及び受取配当金	△199	△183
支払利息	1,816	2,051
持分法による投資損益(△は益)	△2,054	△1,517
固定資産処分損	142	829
売上債権の増減額(△は増加)	5,719	3,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	587	△2,296
未収入金の増減額(△は増加)	△341	△1,131
未払金の増減額(△は減少)	△180	654
未収消費税等の増減額(△は増加)	345	779
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,125	609
仕入債務の増減額(△は減少)	1,802	△1,899
その他	△1,437	938
小計	13,223	14,518
利息及び配当金の受取額	394	598
利息の支払額	△1,781	△2,030
確定拠出年金制度への移行に伴う拠出額	-	△1,492
法人税等の支払額	△1,595	△631
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,240	10,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,910	△8,920
有形固定資産の売却による収入	1,561	525
無形固定資産の取得による支出	△605	△551
投資有価証券の取得による支出	△218	△318
その他	△247	△187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,420	△9,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△4,984	3,256
長期借入れによる収入	10,999	9,294
長期借入金の返済による支出	△9,207	△11,129
リース債務の返済による支出	△929	△1,089
配当金の支払額	△1,361	△1,382
少数株主への配当金の支払額	△0	△405
少数株主からの払込みによる収入	32	195
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,460	△1,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	941	593
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,698	832
現金及び現金同等物の期首残高	19,961	19,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,263	19,910

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 機器事業	流通システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,040	58,042	190,083	7,594	197,677	—	197,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	132,040	58,042	190,083	7,594	197,677	—	197,677
セグメント利益 又は損失(△)	1,205	1,309	2,515	△2,021	493	—	493

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 機器事業	流通システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	145,957	71,622	217,580	8,450	226,030	—	226,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	145,957	71,622	217,580	8,450	226,030	—	226,030
セグメント利益 又は損失(△)	3,120	4,683	7,803	△2,344	5,459	—	5,459

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。